

「きっとある、あなたにできること！～気がつけばボランティア」

昨今増えている災害等の地域課題への対応に直面するたびに、「何かできることはないか?」「何かしたい!」と感じている方を対象に、ボランティアや市民活動は難しいものではなく、身近にあることを紹介し、一人でも多くの方が活動に関われるよう、身近な問題から活動への「気づき」を促すよう企画しました。

ボランティアのパイオニア、平成三震災の復興を陣頭指揮された安藤雄太氏からそのエピソードも交えて、色々な活動の仕方や取り組み方を話していただきました。参加者の多くがうなずいたり、メモをとったりして聴き入っていました。

後半のワークショップでは、身近にある問題点に取り組むべき仮のボランティア団体を立ち上げるという仮定で、テーブル単位でグループ討議を行い、まとめたものを発表する場を設けました。

各グループでの討議は大いに盛り上がり、初体験の方も「やってみたら楽しかった!」などの感想を

いただきました。

終了後の茶話会にも数名が参加し、先生との質疑応答に得るものがあったようです。

<参加者の意見>

- ・ボランティアの基本的な仕組みが良く分かった。
- ・元気な福生市の様子が知れて素晴らしいと思った。
- ・ワークショップが思いがけず盛り上がった。
- ・講師の熱の入ったお話に、感動しました。

<参加者 17名 満足度 4.7 (5点満点)>



講師：安藤 雄太氏
(法政大学現代福祉学部兼任講師)



「カリスマ講師が伝授 ～人が集まるチラシの作り方～」

開催する講座のほとんどが定員オーバーとなる坂田静香氏を講師に迎え、チラシ作りの講座を開催しました。

講座やイベントを開催しても人が集まらないのは、悪天候や意識のレベル、地域性の違い等が問題なのではなく、主催者側の“企画力”と“広報力”が原因です。そこで、講師の企画した講座のチラシを実例にして、講座名の選び方、キャッチコピーの付け方、必ず記載する項目等の具体的なポイントを学び、より良い企画・チラシの作り方を学びました。

その中でも重要なポイントは、企画段階での「対象者の絞り込み」です。対象者を絞ることで、開催する曜日、時間帯、チラシの字体等を対象者のニーズに合わせられ、より多くの人が集まるそうです。その他、アンケートのポイントや、日常生活の中でアンテナを高めるコツ等とても参考になるお話がありました。

後半のポスターの講評では、参加者が持参したポスターひとつひとつを丁寧に良い点や具体的改善点を示していただき、皆さん「なるほど～」と目からうろこの様子でした。

<参加者の意見>

- ・基本がよくわかり勉強になった。
- ・実例と要点を押さえた内容でわかりやすかった。
- ・なるほど!がたくさんあった。
- ・具体的なアドバイスが得られた。

<参加者 30名 満足度 4.8 (5点満点)>

講師：坂田 静香氏
(男女共同参画おた理事長)



事業名 地域の居場所づくりとは ～「子ども食堂」を通して考える～

以前と比べ、社会は効率や成果を求めるようになってきました。このような現代の風潮に対して、私たちは何ができるでしょうか?

本講座では、学生と地域の方たちが協働して運営してきた「子ども食堂運動」と、学びの権利を取り戻す「自主夜間中学」を居場所づくりの事例として

取り上げます。皆さんと一緒に居場所づくりから地域や世の中のことを考えてみたいと思います。



第一回	【はちおうじ子ども食堂】 学生が主体となって運営している「はちおうじ子ども食堂」の事例紹介です。	10月22日(土) 午後2時～4時
第二回	【あつぎえんぴつの会】 様々な事情で義務教育が受けられなかった方に、「自主夜間中学」として勉強を教えている活動の事例紹介です。	11月5日(土) 午後2時～4時
第三回	【ここ、あいてますよ。ディスパーニブルな場をつくる】 様々な居場所づくりの実践をとおして、居場所づくりの必要性と望ましい形について考えて生きます。	11月20日(日) 午後2時～4時

【場所】 輝き市民サポートセンター

【対象】 市民活動をしている方又はこれから活動を始めたい方(3回すべて参加できなくても可)

【定員】 30名

【講師】 碓井 健寛氏(創価大学経済学部准教授)・他

【申込み】 10月4日(火)から、輝き市民サポートセンター及び公共施設に設置してあるチラシ裏面の申込用紙を持参又はFAX・電話でも受け付けます。

【FAX】 042-551-0166 (輝き市民サポートセンター)



新規団体の紹介 8月新規登録団体

「心理コンサルテーション協会 ぴいす」

日本人の88%が、何かしら小さい悩みを持っている、と厚生労働省のデータで出ています。しかし、いざ、カウンセリングをしてもらおうと思っても、「病気だと思われたくない」、「どこに問い合わせたらいいのかわからない…」など、なんだか敷居が高いイメージがあります。

小さな悩みでも、その人にとってみれば辛く苦しく、どうすればいいか考えあぐねているかもしれません。そんな隠れ悩んでいる人たちの声にお応えして、我々『心理コンサルテーション協会 ぴいす』は、体験型セミナーやイベントを通じて、同じ悩みを持った人を集めることで、お互いが気持ちを共有し、「自分だけではない」という安心感を感じ、

悩みが少しでも和らいだり解決を見出していただくことで、カウンセリングの敷居を下げ、隠れ、悩んでいる方たちを減らすため、日々活動をしている任意団体です。もちろん1対1の本格的なカウンセリングを行うことも可能です。

我々『ぴいす』は、単に症状を除去したり、問題を解決するにとどまらず、気軽におしゃべりをしていくかのように、一緒に歩いていく同行者として、さまざまな気づきと学びを得て、自己成長を二人三脚でとげていきます。変わる力や必要なものは、皆さんの中にあります。

我々を、ちょっとした「きっかけ」としてください。

【今後の予定】 体験型セミナー：こころの取扱説明書～リラックスワークショップ～

子育てママ お悩みポジションチェンジ・すぐに行動できるようになる

イベント：おしゃべりCafé

心理コンサルテーション協会 ぴいす 代表 寺岡 俊一

問合せ先： TEL：050-5308-5258 Mail：teraoka@pilis.com URL：http://www.pilis.com